

み

ん

な

の

文

芸

中田國太郎選

投稿数15首

評なぜか山水画の世界を覗くような雰囲気に誘い込まれるような句。実際にそこに居合せた者でないとこの感じは受取りにくいかもしれない。かつて三峰の奥社の坊に泊った折、早朝の散策にて裏側の稜線に陽が差しはじめ、谿の底から真白な霧の層が湧き上がり、足許の分水嶺まで来てぴたりと止まり、僅かに呼吸をしているかのように上下に小さく動いている状態を見て、そと乗つてみたいような気分になり、指で触つたりして、自然の作り出す状景に魅せられたことがあった。

秋風や洋蘭花芽ぬつと出る
朱の糸でかかる手毬やまんじゅし
休耕田踊るコスモス背丈ほど
生絹雲流るる空や渓の徑
児の丈を追いこして咲くそばの花
先輩のいくさ談義や柿熟す
ひとり居の戸締まり早め秋惜しむ
名月を乞いて氣を揉むここ三日
リュック背に区民総出の山の秋
御詠歌に急ぐ坂道曼珠沙華
晴わたり稻穂のたるる散歩道
皆野根岸詩子
皆野関根助市
皆野新井茂

(評)雪月花の美意識の中で、月は不思議な力を秘めている。人間の詩情を搔き立て、様々な作品が生まれている。作者は、山峡の空を煌煌と照らす青白い月に惹かれじうと見上げている。過ぎ去った時や愛する人々の面影を浮かべているのだろう。結句の「出ては仰ぎぬに愛憎の情がこもっている」月世界の旅行ができるようになった現代でも、人間の感情生活にとって月は必要不可欠である。正岡子規の月の歌「ガラス戸の外に据えた鳥籠のブリキの屋根に月映る見ゆ」野口作、「立ち止まりづ」が効いている。四方田作、縁者が減って行く時の寂しさに同感。新井作、六十年の重みに慶寿。

子育ても職場も終りこれよりは立ち止まりつつ共に歩まむ
警察庁勤めし父の生家跡立てば寂しも縁者へりゆく
寄りそいて六十年にたどりつき年輪冥利慶寿の祝福
八十路越へ慶寿の祝い賑やかに翁嫗は活気に満ちる
新政権発足してもわが農は変らず現役土を耕す
掃き集む簫にからむ糸屑の色のあやなす暮の秋なり
敬老の祝に招かれ同級の友と約束卒寿生きんと
密林のごとき大根間引かねば隈なき峡の陽ぞ零れ来ぬ
孫夫婦に座椅子贈られ感謝なす金で得られぬ愛は尊し
免許講習の知能検査に胸騒ぐ漸く証を受けて安堵す
コスモスの優しく揺れるその側にナンテンの実は凜として見ゆ
空青く卒寿祝うて黄菊笑む心豊かに余生あかるく

引間豊作選

投稿数23句

沢づたい押上げて来る朝の霧
三沢 鈴木 キク
(評)なぜか山水画の世界を覗くような雰囲気に誘い込まれるような句。実際にそこに居合せた者でないとこの感じは受取りにくいかもしれない。かつて三峰の奥社の坊に泊った折、早朝の散策にて裏側の稜線に陽が差しはじめ、谿の底から真白な霧の層が湧き上がり、足許の分水嶺まで来てぴたりと止まり、僅かに呼吸をしているかのように上下に小さく動いている状態を見て、そと乗つてみたいような気分になり、指で触つたりして、自然の作り出す状景に魅せられたことがあった。

秋風や洋蘭花芽ぬつと出る
朱の糸でかかる手毬やまんじゅし
休耕田踊るコスモス背丈ほど
生絹雲流るる空や渓の徑
児の丈を追いこして咲くそばの花
下日野沢 引間富美子
先輩のいくさ談義や柿熟す
下田野 藤原 道男
下田野 真下 杏子
三沢 新井 民子
金沢 山口真千子
三沢 高山 ユウ
皆野 関根助市
皆野 新井 茂

名月を乞いて氣を揉むここ三日
下日野沢 高山 ユウ
リュック背に区民総出の山の秋
御詠歌に急ぐ坂道曼珠沙華
皆野根岸詩子
皆野関根助市
皆野新井茂

晴わたり稻穂のたるる散歩道
三沢 横田 龍雲
皆野根岸詩子
皆野関根助市
皆野新井茂

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
総務課へお寄せください。
8日必着
1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう



琉太くん
りゅうた

児玉 裕樹さん
由紀さん
動物大好き♡な琉太
いっぱい食べて
元気に育ってね！！



赤岩 慎祐さん
明日香さん
奏くん1歳おめでとう♡
これからも元気イッパイな
奏でいてね☆



長島 明義さん
梨沙さん
これからも可愛い結愛ちゃん
で成長していってね♡♡
※10月生まれです。

結愛ちゃん
くわいちゃん

※満1歳の赤ちゃんを募集します。12月号の締め切りは、11月10日(火)まで。ホームページからも応募できます。